

# ゆいま～る大曽根 見学レポート

案内者：石黒 浩子 様  
 (ゆいま～る大曽根 ハウス長)  
 見学者：藤原 卓巳  
 鈴木 ひかり



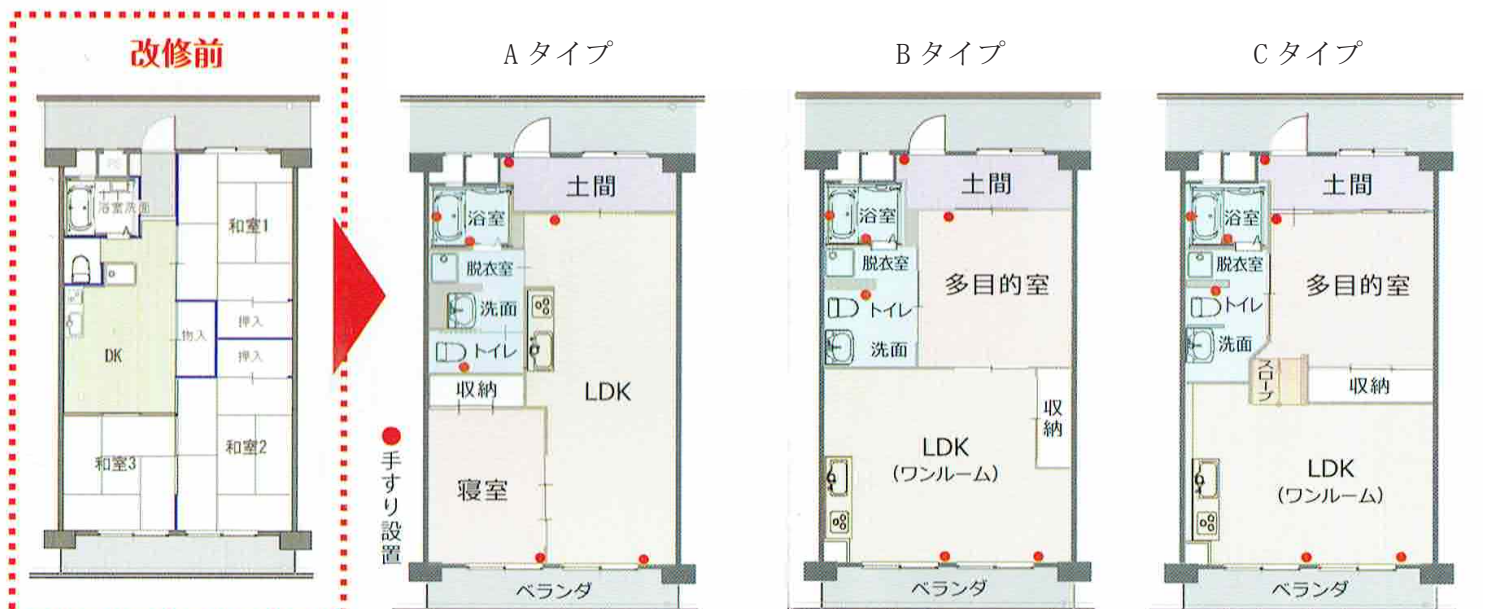
## ■概要

事業主体：株式会社コミュニティネット	構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造 11階建て
名称：ゆいま～る大曽根	建物竣工：1975年（大曽根併存住宅1・2号棟）
住所：愛知県名古屋市中区山田二丁目11番62号	開設：1期（40戸）2017年9月
交通：大曽根駅から徒歩12分（936m）	2期（30戸）2018年7月
用途：分散型サービス付き高齢者向け住宅	見学日時：2019/02/23（土）

## ■経緯

空き家問題が注目され、人や一階の店舗等がいなくなっていく現状であった。地域のコミュニティの場を再生すべく、サ高住と一階の空き店舗に着目し、2014年に開設された「ゆいま～る高島平」のノウハウをもとに計画が進む。サ高住に関してはA・B・Cタイプの三種類があり、どれも1LDKの49.95㎡の住戸である。140戸中70戸がサ高住であり、公社は子育て世帯に向けた住戸をサ高住の開設と共にオープンした。

ゆいま～るシリーズでは「ゆいま～る食堂」というものがあるが、ゆいま～る大曽根では食堂はなく、「ソーネおおぞね」というカフェ、ショップ、資源買取、地域相談窓口、多目的ホールの5つの機能を持った交流拠点がある。「ソーネおおぞね」はNPO法人「わっぱの会」が運営しており、障碍のある方もない方も共に働いている。この「ソーネおおぞね」が「ゆいま～る食堂」の役割を担いつつ、交流拠点となっている。



※2期一部仕様変更:全戸/物入れは折戸、Aタイプ/寝室の入り口戸は2枚引き込み、Cタイプ/スロープ無し・サニタリー片引き戸一箇所追加

## ■住戸に関して

全タイプにおいて、1～2人暮らし用の間取りになっている。室内をバリアフリーにするために土間と居室には段差があるが、入居者は基本的に元気な人がほとんどのため、支障はあまりない（写真1）。土間に関しては入居者から評判が良く、アトリエスペースやシルバーカーの置き場等、趣味活動の場となっている。土間にマットを置き、はだしのまま新聞等の届きものを取る方もいらっしゃる。

サッシを変えてほしい（古い）という声があるが、公社住宅の共有部にあたるため新しくできない現状である（写真2）。収納スペースが全タイプにおいて狭いという声もあるが、引っ越してここに住む場合、荷物の整理をする機会にもつながっている（写真3）。住戸内とバルコニーの間には段差があるため、足踏み台を付けている。全タイプが約50㎡であり、1人暮らしの方にとっては広すぎることもあり、1人暮らし用のプランタイプがほしかった。



写真1. 土間

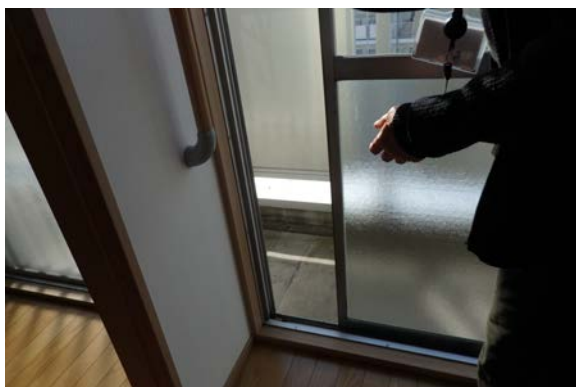


写真2. サッシとバルコニー



写真3. 収納スペース

### ・Aタイプ

この住戸タイプが一番の人気を集めており、1～2暮らし用になっている。キッチンが少し狭いと入居者から言われている（写真4）。

### ・Bタイプ

Aタイプと比較すると多目的室（写真5）が玄関から近く、水回りとの距離も近い。高齢者の場合、夜中に用を足すこともあるため、お手洗い場と近いことは良い点となっている（写真6）。

### ・Cタイプ

3タイプの中では一番人気は低く、特徴として住戸の中にスロープがある（写真7）。また、土間と多目的室の間の間仕切りは二か所の出入り口が存在しているが、効率良く利用はされていない（写真8）。多目的室とLDKの間に押入れがあるため、ほかのタイプと比較すると空間が仕切られているように感じられた（写真9）。



写真4. 住戸内LDKの様子



写真5. 多目的室

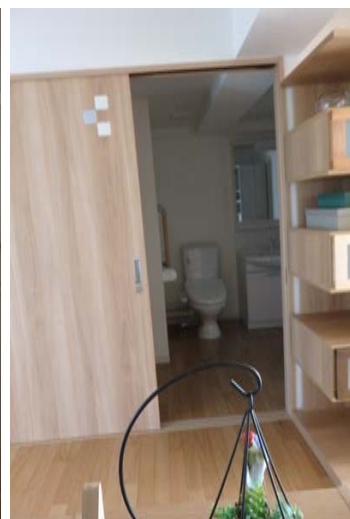


写真6. 水回りとの距離



写真7. 住戸内のスロープ



写真8. 二か所の出入り口



写真9. 多目的室

### ■フロントに関して

スタッフ二名がフロントにおり、入居者たちはフロントで健康麻雀などを楽しんだり、入居者同士の交流の場になっている。週に一回のペースで3号棟一階の集会場を借り、卓球を行うこともある（フロント内ではできないため）。フロントの前にある花壇は入居者が花を育て、近所の方とふれあう機会があう。

### ■ソーネおおぞねに関して

団地の一階は店舗が多数入っており、昔からある美容室などがある。1号棟エントランスの隣にソーネおおぞねがある（写真10.11）。



写真10. ソーネおおぞね出入り口



写真11. 看板

#### ①ソーネカフェ

施設の中心に位置し、入居者のみならず周辺に住む方々も利用できる。カフェの近くには子供が遊べる場所があり、子供を遊ばせながら、親子同士のコミュニティが生まれていた（写真12）。

#### ②ソーネショップ

わっぱ会の農場でとれた新鮮野菜を売ったり、愛知県産の小麦粉を使用したパンが販売されている。生活用品も売っており、コンビニのような感覚で訪れることができる（写真13.14）。

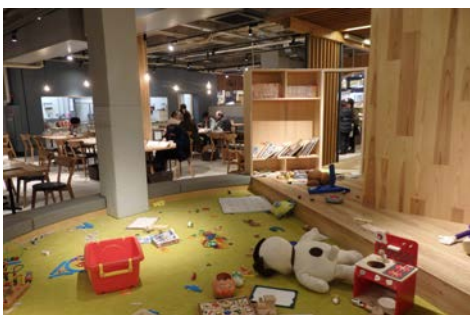


写真12. カフェの様子



写真13. ショップの野菜



写真14. パンの販売

### ③ソーネしげん（資源買取）

いらなくなった服や食器等を買い取ることでポイントがたまる制度を設けている。ポイントはカフェで利用できる。ほとんど物が100円で売られている（写真15.16）。

### ④ソーネそうだん（地域相談窓口）

地域の方々の困りごとを相談できる場がある。

### ⑤ソーネホール（多目的ホール）

演劇や落語，フリーマーケット等が行われ，登録制度にすることで，ある程度の利用者に絞っている。ゆいま〜る大曽根の懇談会もここでおこなっている（写真17）。

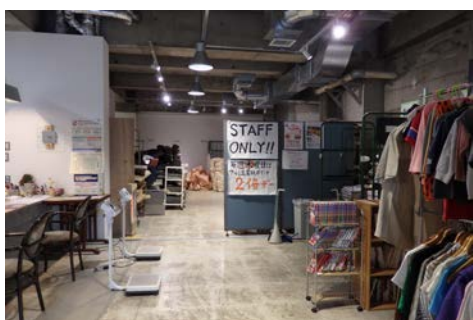


写真15. 服や日用品が並ぶ



写真16. 受付の様子



写真17. 多目的ホール

## 施設案内



**ソーネホール**  
各種講座や会合、地域のイベントや発表会など、多用途に使える便利な会員制レンタルスペースです。

### ソーネそうだん

「地域の駆け込み寺」として、小さなお困り事から専門家が寄り添って解決。いつでも気軽にご相談ください。



### ソーネしげん



### ソーネしげん

分別してお持ち頂く「資源」を買取ります。買取時は、店内カフェ・レストランのドリンクやフードに使えるポイント交換がお得。



### ソーネカフェ

モーニングから晩ごはんまで、愛知県産の食材を活かしたヘルシーなメニューの数々を手頃な価格でお楽しみください。



愛知県産小麦「ゆめあかり」を使用したパン、愛知県産の野菜・食品、愛知県下の障害福祉サービス事業所で製造された雑穀・食品、など



### ソーネショップ

おなじみ「わっぴん」のパンと「愛知の食」をメインに、こだわりのある物から一時的な物までを集めたショップです。